

# 北山だより

北山湿地(池金町)は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取等の行為は禁止されています。これに違反した場合は、30万円以下の罰金が科せられる場合があります。貴重な自然環境の保護にご協力ください。

## 北山湿地を守る活動

【4月の作業内容〈16日(土)9時～正午〉参加24人】①G湿地の草刈り・低木伐採②K湿地前の道路沿いササ刈り③湿地全体の木道の点検・修繕④参加者全員でA湿地から尾根道にかけて散策道の保全を兼ねて散策



G湿地での除草作業



木道のボルト点検

4月の作業は1時間ほどで終了。この日のメインは、尾根道にかけての散策です

♣A湿地から山林に入り、山道を登って湿地東側に横たわる里山の尾根道を歩いて再び湿地側に下りてくるのが北山の散策ルート♣しかし湿地保護の会会員でも尾根道まで足を伸ばす機会は少なく、手入れも行き届かないため、来訪者の増えるこの時期に保全も兼ねて散策することに。多くの眼で改善点を見つけることも兼ねています♣ただ、そこは自然大好きな会員ばかり。結果的には保全より、ミニ観察



北山湿地では珍しいズミ

会と相成りました…♣作業ばかりというのも味気ない。「楽しく活動」がモットーですので、勉強も兼ねてたまには北山を楽しまないと♣5月半ばの北山湿地は新緑が鮮やか。ズミ、ツクバネウツギ、ネジキなどのほか、A湿地では東海地方の固有種であるクロミノニシゴリなど、この時期にふさわしく、すがすがしい白い花が迎えてくれます♣これに加えてモチツツジやコックバネウツギなどのピンク系の花も彩りを添えてくれます♣陽気に誘われて、昆虫の活動も活発です。トンボやチョウなど飛ぶものについて目が行きがちですが、地面や落ち葉の陰、樹木の枝や葉などにも、小さな虫たちが動き回っています♣中には小さくても、日に照らされると青や緑のメタリック色が輝く美しい甲虫も少なくありません♣湿った薄暗い場所ではアカガエルやアマガエルなどが飛びはね愛らしい姿を見せてくれますが、一方でマムシも潜んでいます。

ツクバネウツギ



おとなしいヘビですので踏みつけたりしない限り、噛まれることはありませんが、一応、要注意♣やなが沢池では、4月上旬にいつせいに羽化したタバサナエが飛び回り、水中ではメダカの学校が開校しました。

## 北山湿地初夏の観察会

こうした多種多様な植物や生きものたちに出会える、北山湿地観察会を岡崎市自然共生課が開催します。湿地保護の会が日頃ご指導いただいている専門の先生方が講師を務められ、会員がサポートします。4月の観察会が雨で中止になりましたので、今年最初です。ササユリやバイカツツジ、ムカシヤンマなどが観察できるかもしれません。【日時】6月11日(土)9時～正午(雨天なら翌12日)【講師】大平仁夫先生(昆虫 農学博士)、千賀敏之先生(植物 元新編岡崎市史調査委員)【持ち物など】筆記用具、メモ、飲み物、ハイキングのできる服装、長靴【定員】30人(超過の場合抽選)【申し込み】はがき・FAX・Eメールで「北山湿地観察会」として、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。6月2日までに同課自然保護班まで(〒444-8601岡崎市十王町2-9)その他連絡先は本紙欄外に記載。

《岡崎市が環境首都コンテストで総合4位!》環境問題等に関する質問への回答に対し採点し順位が決定。岡崎市のこれまで最高は11位。最終回となる第10回(2010)で全国58自治体中、3位の安城市に次いで。市民協働・市民参画の施策が高評価を受けたようです。※森の駅6月のプログラムは同ホームページまたは市政だより5月15日号をチェック。

## ホタルだより 2011

まもなくホタルの季節です。ゲンジボタルの見頃は、だいたい6月上旬～中旬。雨天でなく風が弱く、湿度の高い日によく飛びます。時間は20～21時頃。一方、川沿いに生息するゲンジボタルに対し、ヘイケボタルは主に水田。6月下旬頃から見頃と言われ、時間帯はゲン



光らないベニボタル

ジと同じくらい。また陸生のヒメボタルは山林で見られます。5月下旬頃が見頃ですが、時間は深夜になります。他の2種と違って、チカチカとネオンのような強い光が印象的です。

岡崎市内では乙川沿いを始め、各地でゲンジボタルを観賞



タバサナエの羽化

できますが、水とみどりの森の駅関連の主なイベントは以下の通り(いずれも参加無料)。《おかざき自然体験の森 ホタル観賞会》6月10日(金)・11日

18時30分～20時(雨天は管理棟内で実施) ◆講師：竹内昭次先生 ◆定員各日先着20人 ◆懐中電灯持参、できれば長靴 ◆5月24日から体験の森まで電話で申し込み(☎45-5544 月曜定休) 《鳥川ホタルの里

鳥川ホタルまつり》6月11日 17時～ ◆旧鳥川小学校(鳥川町) ◆二胡の演奏、豊富小学校児童の演奏、ホタル観賞 ◆申し

込み不要、当日会場へ。駐車場あり(約80台) 《千万町茅葺屋敷 ホタルを観る会》6月25日

(土) 19時～21時 ◆定員30人 ◆飲み物、懐中電灯持参 ◆5月22日から同屋敷まで申し込み(☎83-2590 火曜定休)

春になり、北山湿地へ訪れる人が増えてきました。そこでインターネット検索サイトで「北山湿地」を検索。案の定、来訪者によるブログ(ネット上の日記)などで北山が少なからず紹介されています。目立ったのはやはりギフチョウ。こぞって取りあげ、見事な写真を載せています。また、ナンカイワカガミが大人気。あの美しさをすぐ近くで観賞できるのですから納得です。さらに湿地保護の会会員が引率した方々によるサイトでは、春の風物詩であるやなが沢池でのタバサナエの羽化に注目が集まっていました。これは会員が案内しないとなかなか気づかないでしょう。このほか、地元ケーブルテレビ「ミクス」がロケで訪れたときの様子も紹介されています。同社スタッフの中には休日にも一人でも訪れるという北山湿地ファンがいるとか。こうして拝見していると、改めて北山湿地は自然の宝庫だと感じます。いつまでも人々を魅了し続ける北山湿地でありたいと思いました。

## きたやま歳時記⑩

### 岡崎市内の特定外来植物③

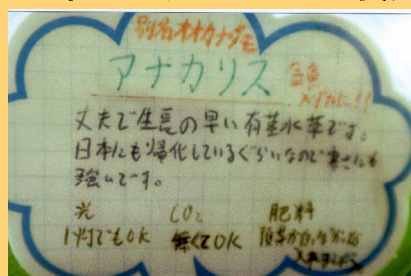
元々人間は、在来生物とは多少のトラブルはあっても共生してきた歴史がある。しかし外来生物はほとんど人間によって移入されたのに、悪影響とか脅威になったとか言っ



外来種も共生

対峙するようになった。そして、本来ならば彼の地でひっそりとバランスよく生きていたものが、種によってはわが国では侵略的外来生物、要注意外来生物などと位置付けられるまでになった。ここまで悪者扱いをされるとかわいそうな気持ちにもなる。

これから先、私たちは外来生物をどうすればよいのか、どう付き合っていけばよいのか、今一度考えてみたい。現在、人間に管理されているものは最後まで責任を持って世話をし、野に放たないようにしなくてはならない。ビジネスにはもっと責任を持つ自覚が必要だと思う。今後、「入れない」「捨てない」「拡げない」の外来生物被害防止三原則を守ることが、罪のない外来生物に対する私たちの「愛」と「償い」だと思う。社会的な大きな問題となる前に、私たちは、細心の注意をもってこれらを取り扱わねばならない。



近くのホームセンターで売ってました

(文と写真/おかざき湿地保護の会 小玉公明)



5月14日(土)、中央総合公園(高隆寺町)で岡崎市自然共生課による探鳥会が開催され、47人もの参加者があり盛況でした。当日は、ハチクマ、ウグイス、コゲラ、ホトトギスなど23種の野鳥を観察することができました。